



すまい造りメール

第3号 2002年6月号



発行日平成14年6月1日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 0468(65)4010
FAX 0468(65)6139

築45年

昭和33年に担当したお住いをご紹介します。
木のきむく
ます。檜の無垢のフローリングで仕上げたところ、ふやけた箇所もなく、床鳴りもしません。トタン仕上げの流し台から、キッチンセットに取り替えた以外は当時のままです。担当した大工さんは、「♪これこれ石の地蔵さん…」と鼻歌まじりに施工したそうです。何と言っても「ひのきばり」が一番です。



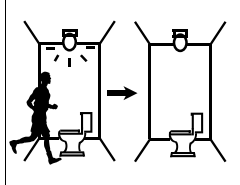
耐水性のある檜

くらとも 暗くを点に

センサ機能がついたトイレ専用の照明器具をご紹介します。センサの検知範囲内で人の動きをとらえると、スイッチに手を触れることなく、自動的に点灯・消灯します。「暗闇でのスイッチ探し」や「つけっぱなし」で誰かに怒られることもなくなり、苦楽を共に解決することができます。玄関や廊下に取り付けるタイプもあります。松下電工 11,700円(税別)



暗くなってからトイレに入ると、センサにより自動的に点灯し、トイレから出ると、30~120秒後に自動的に消灯します。明るさと時間は調整できます。



景観は、自然の要素と人工の要素とで成り立っています。落ち着いた色彩景観を形成するためには、海や山といったその土地独特の風土の中で長い年月をかけて形成してきた自然的な色彩と、建築物・工作物といった短期間で人間が形成した人工的な色彩をひとつの周辺環境として総合的な視点で捉え、色合いを整えていく必要があります。

横須賀市では、全国に先駆けて、秩序ある色彩景観が形成できるように「建築物等色彩協議要項」を制定し、商業ビルをはじめとして、マンション・戸建住宅等の建築物や工作物の新築や改築、外壁の塗り替え等をする場合に、あらかじめ色彩について協議をしています。色彩景観の重要性を呼び掛けています。



ヴェルニー公園 (旧臨海公園)

掲載内容

- 現場施工例
- 商品紹介
- 景観と色彩
- 街並み探訪
- ユニバーサルデザイン
- クイズ
- コラム

前回のクイズの答え

「檜」ヒノキです。

ざっくばらん 雑句芭欄



30年前の1972年2月に昭和最大の凶悪事件が起きました。その事件を映画化した『突入せよ!「あさま山荘」事件』が6月14日まで上映されています。迫力ある突入シーン、警察内部の衝突・葛藤を織り交ぜながら、体を張り命懸けで戦った男たちの真実のドラマが繰り広げられます。当時生中継されたテレビの視聴率は89.7%を記録し、その後の報道のあり方や危機管理の重要性など社会に多大な影響を及ぼしました。別売のパンフレット(600円)には、当時の関係者の生々しい証言がまとめられています。

(上映時間2時間13分)

横須賀ヒューマックスシネマズ
上映時間 10:10/12:45/17:55

0468(21)2451

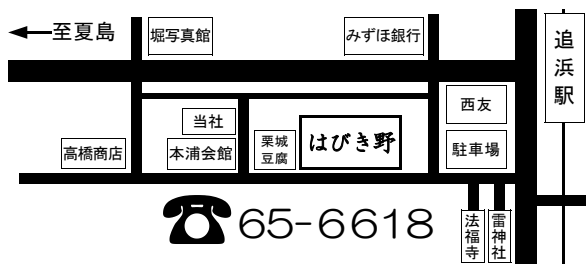
マイカル松竹本教

上映時間 10:35/13:20/18:35

045(625)3766

お待たせしません。

うまい・やすい・はやいの「はびき野」では、ご来店された方は勿論、出前注文された方でもお待たせすることのないサービスを日頃から心掛けています。店長からの美味しいお知らせです。6月19日(水)~6月24日(月)の間、ご来店された方に限り、玉子丼200円、中華丼400円でご提供します。ご注文の際に、右記のクイズの答えを忘れずにお伝えください。□はびき野 追浜本町1-26 0468-65-6618(定休)火(営業)11:00~20:00 出前は1,000円より 受付は19:00まで



☎ 65-6618



テイクアウトのできる餃子(5個入り)は、時間を指定すれば、待つことなくお持ち帰りができます。

ギョーザ	200円
ラーメン	350円
チャーハン	450円
カツ丼	450円
玉子丼	450円
中華丼	600円
ワンタン	600円
五目そば	600円
冷やし中華	500円
など	500円
(税込)	

クイズ

ヒノキチオールと呼ばれる精油成分が、シロアリなどの虫を寄せつけないため、木造建築の土台として、広く使われている木はなんでしょう。

ヒント: ヒノキ科に属し地域によっては、あすなろ「翌檜」と呼ばれています。

次号予告

地盤調査について、取り上げる予定です。

転ばぬ先の杖

高齢社会の到来は、日本の住環境に大きな変化をもたらしています。特に生活の基本となる住まいについては、改善されれば、さらに生活しやすくなる箇所が指摘され、今後の課題となっています。

日本の住まいの課題となっている点は、

- ① 部屋と部屋との段差が多い。特に靴を脱いで部屋に入るので、玄関と廊下との段差がある。
- ② 廊下や階段などが狭く、移動が困難である。
- ③ 部屋面積が狭く、使い勝手が悪い。家具などを配置すると更に悪くなる。
- ④ 床に直接坐ったり立ったりする動作や、腰をかがめる動作が多い。
- ⑤ 夏の気候に合わせて造られているため、室内の温度差が大きい。 などが上げられます。

これらは、健康な時や若い時には、不自由さを感じることなく生活することができますが、病気になった時や高齢になった時には、大きな障壁(バリア)となります。そこで、これらの障壁を取り除こう(フリー)という「バリアフリー」という考え方や、さらに一歩進んで、あらゆる人にとって、安全で便利で使いやすいような環境づくりを設計段階から見直そうという「ユニバーサルデザイン」という考え方ができました。

課題となっている点を改善する一例を上げながら、部屋別に点検してみました。



玄関は、靴の着脱時に上り下りする床との段差を小さくして、それらの動作時に楽なように手すりを取り付けます。

靴などを収納する玄関収納に手すりが一体化したものを使い、一旦腰掛けてから、靴を着脱できるようにする方法があります。(施工例①) →



施工例①

廊下は、有効巾が85cmとなるように、柱と柱の距離(芯-芯)は3尺5寸以上が良いとされます。しかしながら、多くの住宅は、芯々で3尺が多いため、有効巾は78cmとなっています。

階段は、手すりを取り付ける際に、壁の下地を確認して、下地がないところには有効巾が狭くなりますが、補強材を取り付け、その上から取り付けるようにします。昇降時には体重以上の負荷がかかることがありますので、壁の強度を十分考慮することも重要となります。握りやすく違和感のないようにするため、手すりの太さや素材について予め実際に触れておくことも大切なことです。

室内の明るさによって自動で点滅する足元灯を取り付け、滑り止めのマットをあえて濃淡の色違いを敷き、昇降時に階段の巾がわかりやすいようにする方法があります。← (施工例②)



施工例②



施工例③

浴室は、脱衣室と洗い場との段差を小さくして、有効巾が取れるスライド式の引戸にして、出入りをスムーズにする方法があります。(施工例③) →

現在ある段差を解消するためには、高さ調整機能のついた樹脂製の「すのこ」を用いる方法があります。

浴室専用の暖房を取り付けて、冬場の浴室内の室温を上げて、温度差を小さくする方法があります。ただ入浴中は体に付いた水滴が温風で蒸発する際に体温を奪い肌寒く感じるので、停止した方がより効果的です。(施工例④) ←



施工例④



施工例⑤

トイレは、引戸の建具を使用して便器に横からアプローチできるような配置が良いとされます。手すりは、座位保持用の横手すりと着座・立上がり用の縦手すりが一体化したL字型を取り付ける方法があります。(施工例⑤) →

ご紹介した施工例は、必要とされる方やご家族で、十分にお話し合いの上、ご家族全員にとって、便利で使いやすい方法を選択しました。しかしながら、すべての方にとって、最良の方法とは限りません。だからこそ、設計段階から、より多くの方が安全で便利で使いやすいと感じる環境づくりを考慮することが、今後の生活を考える上で、重要なこととなっています。

お問い合わせ

お住いに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。また、クイズのご回答もこちらにお寄せください。ハガキや封書、FAXでもお受けします。お名前とご連絡先を忘れずにご記入ください。

〒237-0068 横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店 宛 TEL 0468(65)4010 FAX 0468(65)6139